

# レンジャーになりたい



令和6年度入省予定 環境省総合職自然系

「未来に残したいと思う自然や環境」をテーマに、内定者8名から写真を募集しました。

読者の皆様はどんな自然や環境を残したいですか？



- ① 西表島のサンゴ礁。色鮮やかな水生生物が生息する広大なサンゴ礁。この青々とした美しい海を未来にも残したいと思い選びました。(Hさん)
- ② 鳥海山の千畳ヶ原(仙人平)。風になびく草原とたおやかな山陵、遠くに見える日本海。その美しい景観を見ると満ち足りた気持ちになります。(Gさん)
- ③ 大阪府千早赤阪村の棚田。棚田100選にも選ばれたが、担い手不足で放棄水田も少しずつ増加中。自然とつながりながら営む暮らしを残していきたいと思い選びました。(Cさん)
- ④ 大雪山国立公園。アイヌ語では「カムイミンタラ」、翻訳すると「神々が遊ぶ庭」と呼ばれています。就活後の登山は格別でした！(Fさん)
- ⑤ 奄美群島の徳之島。奄美群島特有の海からうねるように突き上げた断崖を見たとき、地球が生き物であるかのような感動を覚えました。撮影後、熱中症にもなりました…。(Aさん)
- ⑥ 三陸の海。美しい海が広がるが、周辺地域では過疎化が進んでいます。人と自然が共存する場として今後も活性化してほしいという思いで選びました。(Dさん)
- ⑦ 鳥取砂丘。美しい景観や砂丘植物などを守るために、地域住民などを中心とするボランティア活動が行われています。実際に訪れるとスケールの広大さに圧倒されました。(Bさん)
- ⑧ 室堂から眺める立山の夕陽。寒さを忘れて見入ってしまう景色でした。(Eさん)

## はじめに

「内定者の声」をご覧ください、ありがとうございます。

この冊子は、環境省自然系職員（レンジャー）の総合職内定者が、自身の内定に至るまでの体験談をまとめたものです。その目的は、レンジャーとの関わりや繋がりが少ない方にも、就職活動に関する情報を広くお伝えすることにあります。したがって、「レンジャーになりたい」、という方を主な対象としてはいますが、自然や環境に関わる仕事に就きたいと思っている方、国家公務員という職種に関心がある方等、今後の進路を考えている幅広い方々に読んでいただきたいと思っています。

以降のページでは、「内定者の率直な声」を紹介しています。内定者はみな、レンジャーという職業に高い志と意欲を持っていますが、バックグラウンドには、それぞれ違いがあつて、携わりたい業務や志望動機はもちろん、試験の対策や就職活動に取り組む姿勢も様々です。

そのため、「この人は自分と志望動機が似ている！」、「この試験対策は役に立ちそう…」といいとこ取りをしていただいたり、「この人と同じ失敗はしないようにしよう」と反面教師としていただいたり、様々にご活用していただけるものと考えています。その上で、環境省とレンジャーへの興味や理解を深めていただけたら、それ以上嬉しいことはありません。

この冊子が、ご覧いただいた皆様の進路選択の一助になれば、幸いです。

令和6年度 環境省総合職自然系 内定者一同

※こちらの情報は令和5年度のもので、令和6年度以降の国家公務員試験、官庁訪問のスケジュールは、人事院や環境省のホームページでご確認ください。

## 目次

➤ 基礎情報.....	5
➤ 内定者の概要.....	9
➤ 内定者からの情報	
● Aさん.....	10
● Bさん.....	12
● Cさん.....	14
● Dさん.....	16
● Eさん.....	18
● Fさん.....	20
● Gさん.....	22
● Hさん.....	24
➤ 内定者による内定者アンケート.....	26
➤ 受験で使った参考書・資料一覧.....	31

## 基礎情報

### ▶ 令和5年度 国家公務員総合職試験および内定までの流れ

日程	内容	備考
2/1	受験案内の人事院 HP 掲載開始日	
3/1-3/20	申込受付期間（インターネット）	
4/9	<u>第1次試験日</u> 午前：専門試験（多肢選択式） 午後：基礎能力試験（多肢選択式）	服装自由 翌日人事院 HP に解答掲載
4/21	第1次試験合格者発表日	人事院 HP に掲載 第1次試験合格通知書を自分でダウンロード（第2次試験の日時・試験場の通知）
5/7	<u>第2次試験日</u> 筆記試験 午前：専門試験（記述式） 午後：政策論文試験 ※1（大卒のみ）	服装自由 人物試験（院卒は人物試験と政策課題討議試験）の日時・試験場の通知 （大卒：当日配布、院卒：後日メール）
5/15~5/31	<u>第2次試験日</u> 人物試験 ※2 政策課題討議試験 ※3（院卒のみ）	日時指定制、変更は原則不可 スーツ（クールビズ推奨）
6/1~6/9	総合職自然系の官庁訪問予約受付期間 （環境省 HP に掲載）	訪問者カード提出 電子メール予約（合否不明でも予約可）
6/8	最終合格発表	人事院 HP に掲載、合格通知書を自分でダウンロード
6/12~6/14	<u>官庁訪問 第1クール</u>	Web または対面面接 スーツ（クールビズ推奨）
6/15,16,19	<u>官庁訪問 第2クール</u>	対面面接 スーツ（クールビズ推奨）
6/22	内々定解禁	

※1 政策論文試験：課題文と資料が与えられ、小論文形式で解答します（過去問は請求可能）。

※2 人物試験：人事院が行う面接官3名対受験生1名の面接で、時間は一人20分程度です。基本的には当日提出する面接カードに沿って質問されます。

※3 政策課題討議試験：課題文と資料が与えられ、個人でレジюмеを作成後、5~6人1組で意見発表・討議をし、試験官3名がその様子进行评估します（過去問は請求不可）。

**注意！**

令和6年は前年よりも試験の日程が早まります。国家公務員試験採用情報 NAVI にて最新のスケジュールの詳細や更新情報を確認してください。

国家公務員試験採用情報 NAVI

<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>

➤ 環境省の仕事

---

- 環境省の職員は事務系、理工系、自然系の3つに分かれています。
- 環境省自然系職員（通称レンジャー）の業務内容等については、自然系（総合職・一般職）の採用情報 TOP ページに掲載されている FAQ や動画をご参照ください。

自然系（総合職・一般職）採用情報 TOP ページ

[https://www.env.go.jp/guide/saiyo/cat\\_3all/index.html](https://www.env.go.jp/guide/saiyo/cat_3all/index.html)

➤ 試験区分

---

- 総合職自然系は、大卒程度試験、院卒者試験いずれも「森林・自然環境」「化学・生物・薬学」の2つの試験区分から採用されます。
- 試験区分によって入省後の業務内容が変わることはありません。また、試験区分（森林・自然環境、化学・生物・薬学）及び卒業区分（大卒程度試験、院卒者試験）の選択は採用の可否に全く影響しません。
- 国家公務員総合職試験の詳細（試験内容、配点、出題分野等）や最新情報については、「国家公務員試験採用情報 NAVI」の受験案内一覧をご参照ください。

国家公務員採用試験 受験案内一覧

<https://www.jinji.go.jp/saiyo/siken/jyukennannnaiichiran.html>

## ➤ 官庁訪問とは

---

- 官庁訪問とは、志望する省庁に採用してもらうためのいわゆる『採用面接』です。省庁ごと事前で作成し、提出した訪問者カードに沿って面接が行われます。
- 人事院が実施する国家公務員総合職試験に最終合格すると、「採用候補者名簿」に名前が記載され、官庁訪問が可能になります。
- 「最終合格＝採用」ではなく、志望省庁に採用されるには官庁訪問を突破する必要があります。
- 令和5年度試験から、採用候補者名簿は記載されてから5年間有効になるように変更されたため、1度合格すれば5年間は試験なしで官庁訪問を受けることができます（令和4年度以前の試験では3年間有効）。
- 総合職の官庁訪問は、訪問開始日から第1クール～第5クールまでの日程（クール制）で行われた後、内々定が解禁されます。原則として1クールにつき同一省庁への訪問は一回で、通過すれば次のクールに進むことができます。官庁訪問の日程や詳細については、以下のHPをご参照ください。

国家公務員試験採用情報 NAVI 採用までの流れ

[https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo/sougou/saiyo\\_sougou02.html](https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo/sougou/saiyo_sougou02.html)

## ➤ 環境省総合職自然系の官庁訪問について

---

- 令和5年度の総合職自然系の官庁訪問は、直近数年間と同様に個人面接のみで、第1クール（3日間）と第2クール（3日間）のうち、2日間環境省を訪問しました。
- 第1クールの面接では、対面またはWebのどちらかを選択することが出来ました。全員2回の面接を受け、通過者には3回目の面接がありました。第1クール何日目に訪問するかは官庁訪問の予約時に希望を出すことができます。詳細な日時は後日、採用担当からのメールで通知されました。
- 第2クールもメールで日時を指定されました。環境省本省において、最終面接として1～2回の面接が行われました。
- 第1クールでWeb面接を受けた人には、アイスブレイクとして最終面接前に会場や進行の説明を主とした面談が追加で行われました。
- 初日を希望しても枠が埋まってしまい、2日目以降になる可能性もありますが、面接順は採用に影響しません。現に令和5年度の内定者の半分以上が、第1クールにおいて2、3日目に環境省を訪問していました。
- 官庁訪問について分からないこと、不安なこともあるかと思います。遠慮せずに自然系採用担当者にお問い合わせください。

- 【参考】環境省自然系職員（レンジャー）を対象とする、オンライン職員訪問/OB・OG訪問も随時受け付けています。ただし、官庁訪問直前には受付を停止する場合があります。希望する方は計画的に申し込みましょう。

環境省オンライン職員訪問/OB・OG訪問

[https://www.env.go.jp/guide/saiyo/cat\\_3all/obog.html](https://www.env.go.jp/guide/saiyo/cat_3all/obog.html)

問合せ先：自然環境局総務課 E-mail：saiyo3@env.go.jp

## ➤ 官庁訪問でのポイント

---

- 官庁訪問では1クール中に複数の省庁を訪問することができます。
- 次クールの日時が省庁側から指定される場合と、こちらが選べる場合があるなど、省庁ごとに具体的な進め方が異なります。
- 官庁訪問で課される内容も、グループディスカッションから職員訪問に至るまで、省庁によって様々です。
- 人によっては長期戦になる場合もあるため、遠方の方はホテルや飛行機の手配などを早めに行うことをおすすめします。また、どの省庁を何日目に訪問するか事前に計画しておきましょう。

人事院 官庁訪問のQ&A

[https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo/saiyo\\_kanchou\\_qanda.html](https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo/saiyo_kanchou_qanda.html)

# 内定者の概要

以下の表に内定者の試験の受け方や趣味などの基本情報がまとめられています。次章を読む際のインデックスとしてご活用ください！

	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん	Gさん	Hさん
大学での専攻	地球惑星科学 (群集生態学)	ランドスケープ学	景観生態学	環境生態工学	景観生態学	生態学	山岳科学 (環境社会学)	生物資源 (群集生態学)
卒業区分	院卒							
試験区分	化学・生物・薬学	森林・自然環境						
1次試験 選択科目	数学・物理 基礎物理化学・ 基礎無機化学 物理化学・無機化学 応用微生物学・ 生物工学 遺伝学・進化学 生態学・系統分類学	造園学概論	森林環境科学					
		造園計画(自然公園)						森林生物生産科学
		造園計画(都市公園)			造園学概論	森林資源化学		
2次試験 選択科目	応用微生物学 生態学	自然環境・公園緑地						森林科学
併願先	農林水産省 原子力規制庁 出版社、ゼネコン	国土交通省 林野庁 地方公務員(造園職)	林野庁 国家一般職 独立行政法人	なし	シンクタンク 建設コンサルタント	林野庁、都庁(造園) 国家一般職 建設コンサルタント	林野庁 メーカー 建設コンサルタント	林野庁 国家一般職 地方上級
研究テーマ	環境DNAを用いた生 物多様性解析	堤防形状と 土地利用の関係	里山における 自然資源利用	内湾・養殖場の 環境評価	緑地の気候調節機能 評価	森林火災の被害予測	地域住民による 自然の保全意識	イノシシの 生態学的研究
趣味	野球、ウエイト トレーニング	読書、散歩	祭り、旅行 タケノコ掘り	風景写真、カラオケ	旅行、漫画 自転車、スイーツ	写真、旅行、登山 ぬいぐるみ収集	登山、旅行 バスケットボール 食べること	散歩、山菜取り
部活・サークル アルバイト等	硬式野球部 塾講師、TA	環境系サークル 学習塾	環境団体 幼児学習サポート	アカペラコーラス部 テレビ局	国際関係のサークル 観葉植物の管理 家庭教師	美術部 ワングル 写真サークル	バスケサークル ワングル パン屋	硬式テニス部 生物観察サークル 野生動物調査、飲食
好きな動植物	カブトムシ クワガタ カゲロウ、カワゲラ	クスノキ ペンギン	いきものすべて	柴犬 アジサイ	キキョウ トンボ ウミガメ	ラン科植物 ウサギ目の動物	ルリボシヤンマ オコジョ カツラ	アズマヒキガエル 4足歩行の動物 愛犬のクウ

## 内定者からの情報

### Aさん



最終学歴	修士課程修了見込み
学年/専攻分野	修士2年/地球惑星科学（群集生態学）
試験区分	化学・生物・薬学（院卒）
参加した説明会等	自然系説明会 6回、理工系説明会 3回
併願先	農林水産省、原子力規制庁、ゼネコン、出版社

#### ➤ 志望動機

地域の問題から国際的な問題に至るまで、環境課題に対し根本的な解決に取り組みたいと考えています。私は海の近くで育ち、身近な自然や生物の観察をする中で生物多様性というテーマに興味を持つようになりました。大学に入り、野外調査として里山やサンゴ礁の生態系とそこに住む人たちの営みを実際に見て、多様性保全など環境保全に関わる仕事をしたいと思うようになりました。開発との調和や国際協調など、環境保全は多くの分野が複雑に関係しています。環境省なら国立公園での業務や国際会議の調整など、環境課題に対し根本から携わることが出来ます。大学での研究や部活動の経験を活かし、課題解決に取り組んでいきたいです。

#### ➤ 体験記

比較的余裕のあった受験前年の11月にTOEICの勉強と試験を受けました。

##### 【1次試験 基礎能力試験】

過去問を利用しました。3~5年分ほど解いて形式に慣れ、出やすそうな問題を把握しました。問題に慣れたところで、1問あたり何分を要するか記録し、早く解けるように順番を決めました。最終確認として2年分ほど解き、本番を迎えました。時事問題は参考書でちょこちょこ勉強していました。試験2ヶ月前から開始しました。

##### 【1次試験 専門多肢選択式試験】

過去問を5年分ほど解いて傾向を把握し、頻出分野について教科書を使って一通り勉強しました。2次試験も想定していたので、微生物分野では代謝経路や化学式、生態学や遺伝学では法則などを記述できるよ

うにノートを作っていました。試験2ヶ月前から開始しました。選択科目と自分の専攻に被りが少なかったため、基礎能力試験よりも力を入れて勉強していました。

#### 【2次試験 専門記述式試験】

1次試験が終わってから過去問を7年分ほど解きました。1次試験と同様教科書を使い、正確に記述できるように勉強しました。15ほどの分野から2つ（自分は応用微生物学・生態学）選ぶのですが、どちらかの分野を完全に外すことが怖かったので、予備でもう1つ（遺伝学）の勉強もしていました。

#### 【2次試験 人物試験】

他省庁を受ける同期と面接カードを見せ合い、読みやすいかどうかチェックをしていました。面接自体の練習は特にしていません。

#### 【2次試験 政策課題討議試験】

特に勉強していませんが、人物試験も含めどのような流れで進むのか把握し、イメージトレーニングをしていました。

#### 【官庁訪問】

人物試験と同様、他省庁を受ける同期と訪問者カードを見せ合い修正し、飛んできそうな質問をたくさん挙げていました。バックグラウンドが農学・森林系でなく、環境省のインターンにも参加していなかったため、なぜレンジャーを志望したのかということ丁寧説明できるように練習しました。改めて自分の訪問者カードを見返すと曖昧な部分が多いと思いました。レンジャーの官庁訪問は回数も少ないので、より分かりやすく書く・伝える努力をした方が良かったかなと感じています。

### ➤ 内定までの過ごし方、心がけたこと

---

研究や就活など他にやることがたくさん重なっていたため、1次試験は短期集中を心がけていました。平日はジムに行き休日は野球をすることでストレスを発散していました。官庁訪問は複数の省庁に行き、環境省とどのような違いがあるのか勉強しつつ内定獲得を目指しました。

### ➤ アドバイス、メッセージ

---

- ・自分は理工系と自然系のどちらを志望するか、2次試験直後まで迷っていました。そのおかげか、双方の説明会を受けOB訪問をする中で環境省の立場や環境に関するトレンド、職種ごとの雰囲気について知ることが出来ました。志望を絞るのも素晴らしいと思いますが、異なる職種をリサーチしてみるのも良いと思います。自分の行きたい組織がどのような立ち位置にあるか様々な視点で把握できるのではないのでしょうか。
- ・化学・生物・薬学区分のバックグラウンドは自然系では珍しいようで不安もありました。しかし官庁訪問の際にはかえって珍しい話が出るかもと思い、開き直るようにしました。大事なのは環境省に入ってどのような貢献ができるかを自分の口で伝えることだと信じています。自信を持って臨んでください！

## Bさん



最終学歴	修士課程修了見込み
学年/専攻分野	修士2年/ランドスケープ学
試験区分	森林・自然環境（院卒）
参加した説明会等	合同説明会 1回、オンライン説明会 3回
併願先	国土交通省、林野庁、地方公務員（造園職）

### ➤ 志望動機

---

幼い頃から生物や環境問題に対して強い興味を持ち、大学で学ぶ中で、自然環境を保全していくためには保護の面を考えるだけではなく、利用や開発など人の関わり方を含めて検討していく必要があると考えるようになりました。環境省の自然系職員には、利用と保護・管理を含めて関わるができるという点、地域に合わせた施策を行う現場と国全体や国際的な問題に対して取り組む本省、両方の立場から環境保全に携わることができるという点に魅力を感じました。

### ➤ 体験記

---

#### 【1次試験 基礎能力試験】

試験三ヶ月ほど前から大学で入手した過去問を中心に対策を行いました。時間を意識しながら過去問を10年分ぐらい解き、問題の解き方や時間配分を把握しました。知識分野は全体に占める割合が低いため時事問題のみ勉強しました。

#### 【1次試験 専門多肢選択式試験】

試験三ヶ月ほど前から過去問を中心に対策を行いました。一年分問題を通して解いたあと、問題の訂正箇所、関連する法律・施策、自分が覚えていない用語の解説をノートにまとめました。これを過去問5年分行いました。わからない用語、法律などに関してはインターネットや大学の講義資料を用いて調べました。

#### 【2次試験 専門記述式試験】

1次試験後から勉強を始め、過去問を中心に対策を始めました。出題内容は1次試験とほぼ同じなので、1次試験の際にまとめたノートを用いて知識の定着が不十分なところを補強するようにしました。結果に関しては自分の中では手応えがあったのですが、点数はあまり良くなかったので、答案を他の人に添削してもらおうなどし、必要な要素が抜けていないか、人に伝わる文章になっているかの確認を行った方が良いかもしれません。

#### 【2次試験 人物試験】

準備を始めるのが遅く直前に面接カードを仕上げたため、内容を他の人に添削してもらうことができませんでした。早めに準備を行い、キャリアセンターの職員や友達、家族など誰にでもいいので内容の添削をお願いした方がいいと思います。面接ではカードに書いた内容について聞かれ、簡潔に回答するように心がけていました。

#### 【2次試験 政策課題討議試験】

事前に試験の流れを把握し、レジュメをどのようにまとめるかを考えておきました。ゼミや授業などで意見を交わす経験をしていれば問題ないと思います。

#### 【官庁訪問】

1日目に訪問しようと考えていましたが、訪問者カードの提出が遅かったため、第二希望の3日目の訪問となりました。結果として他の省庁で官庁訪問を経験したおかげで、場に慣れた状態で面接を行うことができたと思います。

面接までの準備としては、説明会やHPの情報から環境省が取り組んでいることを調べ、自分の志望動機や経験と関連して話せるようにしていました。また訪問者カードの内容の深掘りを行い、想定される質問とそれに対する回答の用意を行いました。最近のニュースについては新聞やテレビなどで確認し、自分の意見を言えるようにしていました。

当日は第1クール、第2クールともに対面で面接を行いました。面接は概ね提出した訪問者カードの内容に沿って行われましたが、一部想定外の質問もありました。職員の方に質問できる時間もあったので事前に聞きたい内容をまとめておくといいと思います。

### ▶ 内定までの過ごし方、心がけたこと

---

ゼミの活動などと試験勉強を並行して行っており、計画通りに勉強が進まないこともありましたが、趣味や外出など息抜きの時間は確保するようにしていました。適度な息抜きを設けたことで、試験対策が苦にならずに行えたり、そこで経験したことが面接で話のネタになったりなどしました。

### ▶ アドバイス、メッセージ

---

就職活動をする中で民間志望の友人が内定を決めていくことや、他人の経験と自分の経験を比較して不安になることもありましたが、自分には自分の経験してきたことがあり周囲と比較することはできないと考えることで乗り越えてきました。実力を十分に発揮するためにも、自分がしてきた経験に自信を持ち、できることを一つずつこなしていくことが大切だと思います。

ここまでお読みいただきありがとうございました。この体験談が少しでも参考になれば幸いです。

## Cさん



最終学歴	修士課程修了見込み
学年/専攻分野	修士2年/景観生態学
試験区分	森林・自然環境（院卒）
参加した説明会等	女子学生霞が関インターンシップ、オンライン職員訪問、 オンライン説明会 8回
併願先	林野庁・国家一般職・独立行政法人

### ➤ 志望動機

山に囲まれムササビと共生する環境（屋根裏に生息中）で育ち、中学生の時に放置竹林を調べたことで里山における人と自然とのつながりに関心を持ちました。高校卒業時には将来レンジャーになることを意識し始め、大学進学後もプラスチック問題、食品ロスなど分野横断的な課題意識も持ちながら里山に関する研究を行うことで、環境保全への思いを高め続けてきました。環境省では地域特性を生かした自然環境教育やエコツーリズムの推進、里山保全を支援する仕組みづくり等を実現することで、2050年のその先につながる自然共生社会の実現に貢献したいです。

### ➤ 体験記

#### 【1次試験 基礎能力試験】

試験3か月前から主として大学で入手した過去問を活用して対策を行いました。過去5年分ほどの過去問を、時間を計りながら解き、文章読解・数的処理・判断推理について一周しました。判断推理・数的処理は過去問に出てきた問題の類似問題を新スーパー過去問ゼミで解く作戦で重点的に対策しました。知識系の問題については時事のみ『速攻の時事』を大まかに暗記するを行いました。

#### 【1次試験 専門多肢選択式試験】

試験3か月前より、まず過去問を1年分解き、出題テーマや対策すべき項目を確認しました。

その後、過去問は5年分解き、間違えた所はノートにまとめることを行いました。問題を解く際も常に、間違えている選択肢はどこが間違えているかも回答するようにしていました。

加えて、共通問題ではほぼ勉強してこなかった地学の知識が足りないと感じ、高校生用の図説・教科書

を読み総復習しました。選択分野についても、専門に近い内容とはいえ施策・法律は知らないこともあったので、林業白書や環境省HPの重点施策等、国土交通省HPの施策概要紹介ページを参考に、所管する法律の概要・改正状況・現在の取り組みなどを自分なりにまとめ、内容を全て暗記するを行いました。

### 【2次試験 専門記述式試験】

1次試験終了後に対策を始めました。1次試験でかなり知識を詰め込んだために、過去問を確認し出題形式やテーマを理解した後は過去問を1,2年分解いた程度でした。試験は手書きで文字を書き続けるので、必要な人は紙に回答することにも慣れておくとよいかもしれません。

### 【2次試験 人物試験】

家族や友人とニュースに対する意見を交わすことが日常茶飯事だったため、レジユメのまとめ方を決めた以外、特に対策は行いませんでした。

### 【2次試験 政策課題討議試験】

面接カードを記入後、大学のキャリアサポートセンターの方にフィードバックをもらい修正する準備を行いました。その際に模擬面接も一度行いました。

### 【官庁訪問】

面接準備としては、OBOG訪問を行うことや説明会などの話を通して、環境省で何がしたいか、どのようなレンジャーになりたいのか、現在直面している環境問題に対する自身の意見などを考えることを行ってきました。訪問者カードは2次試験終了後に作成を開始し、大学キャリアサポートセンターの方に内容のチェックと模擬面接を行っていただきました。

当日は、第1クール1日目にオンラインで訪問を行いました。遠方からでも体力を温存しつつ参加できることと、接続していない時間帯にリラックスできることは利点だと感じました。面接は笑顔で面接官の方との会話を楽しむことを目標に挑みました。基本的には訪問者カードの内容の延長線上にある質問でした。

## ➤ 内定までの過ごし方、心がけたこと

---

図らずも就活期間に学会発表準備や修士研究、課外活動を並行することになり怒涛の日々であったことで、根を詰めすぎずに就活を行うことができたように思います。民間就職で早期に内定をもらう友人の話に不安になることもありましたが、その時できることを全力でやるのみだ！と自分を鼓舞して日々を駆け抜けてきました。

## ➤ アドバイス、メッセージ

---

就職活動は内定をもらうことが形式上のゴールですが、それが社会人人生の始まりでもあります。そのため、志望先を決める際は、自分が社会にどう貢献したいか、自分の強みややりたいことは活かせるかなどをしっかりと考えることが大切だと思います。そうして自分の中で高めた熱い思いは、不安になった時、落ち込んだ時にあなたを支えてくれると思います。自分の思いには正直に、その時の120%で挑めば、あなたらしい道が開けるはずです！

## Dさん



最終学歴	博士課程修了見込み
学年/専攻分野	博士3年/環境生態工学（土木工学）
試験区分	森林・自然環境（院卒）
参加した説明会等	オンライン職員訪問、オンライン説明会 5回程度、 インターンシップ(東北地方環境事務所)
併願先	なし

### ➤ 志望動機

国立公園の絶景が好きだったこと、大学で生物多様性や持続可能な養殖に関する研究に触れたこと、出身地や研究対象地の人口減少問題を実感したことをきっかけに、「自然共生社会の実現に貢献したい。そのために、社会の課題を、自然資源を活用して解決したい」と考えました。今まで研究では、環境・生態系の問題に科学的視点で取り組みました。その上で、科学と、社会的アプローチ（社会の仕組み構築、国民の認知・関心向上など）を融合させる点に重要性や自らの興味を感じました。その実現には環境省しかないと考えました。

### ➤ 体験記

#### 【1次試験 基礎能力試験】

私は、令和4年度（官庁訪問の1年前）の公務員試験を受験しました。さらに、平成30年度の国家公務員試験（総合職の森林・自然環境と一般職の林学）を受験した経験があり、少し特殊なケースだと思います。基礎能力試験は苦手意識が強く、4割から5割がターゲットとっていたので、あまり本格的に勉強はしませんでした。国家総合職の過去問集を用いて、文章理解・資料解釈・判断/数的推理(解けそうな部分)を、1日1から2題ずつ時間を計って解く程度です。試験前日に、人事院から入手した過去問1年分を通して時間を計って解き、これを4年分繰り返しました。そこで時間配分の練習をしました。

#### 【1次試験 専門多肢選択式試験】

専門試験の勉強は、令和4年の2月に本格的に開始しました。令和3年11月にビオトープ計画管理士試験を受験しており、その試験に向けての勉強が森林・自然環境区分の法律や制度の基礎学習につながりました。基礎能力試験の苦手を補うため、8割を目指して勉強しました。公務員試験の本対策は、平成24年度から令和3年度までの10年分の過去問を勉強しました。5択問題が中心です。正解以外の選択肢も、どこを

訂正すれば正解になるか、HPや白書・本で調べて書き込む方法で知識をつけました。何年分かの過去問を解いていると、どこが問われやすい分野かなどの傾向がわかってくると思います。

#### 【2次試験 専門記述式試験】

試験前日に過去問を解き、記述に慣れる対策をしました。十分な時間が取れませんでした。1次試験の勉強で知識を付けられたことが良かったと感じています。

#### 【2次試験 人物試験】

特に対策は行いませんでした。出題されるテーマも幅広く、対策が難しい分野です。高度ではなくとも、資料の理解や要点整理、意見交換が一定レベルできれば大丈夫だと思います。

#### 【2次試験 政策課題討議試験】

面接カードを作成し、社会人の友人と面接練習をしてアドバイスをもらいました。4年前に一度人事院面接をした経験も活かしたと思います。

#### 【官庁訪問】

対策は令和5年の1月ごろから始めました。前年度に合格していたことで、準備を前倒しで行うことができました。訪問者カードの作成では、環境省の目指す方針と私の興味関心がいかに一致しているか、それを私の経験を踏まえていかに説明できるかを意識し、納得のいくまで書き直しました。面接練習は、民間企業や他省庁の官庁訪問の経験者と数回練習し、アドバイスをもらいました。これまでの選択(学部学科・部活・院進など)の理由を説明できること、その経験で何を武器にできたか・何を思い環境省を志望するに至ったか、を説明できることが重要と感じます。スケジュールとしては、第1、第2クールともに面接時間・待ち時間もそれほど長くはありませんでした。面接は、訪問者カードに基づき、親切に、かつ自分に興味を持って詳しく質問をしてくださる印象が強かったです。官庁訪問について調べると、色々な情報が飛び交いますが、本当に省庁次第で全く性質が異なると思います。自分の納得する準備ができ、自信を持って挑めれば大丈夫です。

### ▶ 内定までの過ごし方、心がけたこと

---

基本的に研究センターの生活でした。その中で、研究室の先輩の紹介やオンライン職員訪問など、いただける機会は積極的に活用し、環境省職員の方とお話しできたことで、不安の解消に繋がれたと思います。さらには、好きな風景を観に出かけて写真を撮ることで、日々の就活や研究の活力を得ていました。

### ▶ アドバイス、メッセージ

---

自分が正しいと思う努力を重ね、やり切ることが一番大事だと思います。そのためには、性格や適性など、自己分析が非常に重要です。そうして得られた自信や自己の確立が、試験、面接、その後の社会人生活で花開くと、私はそう考えています。がんばってください！

## Eさん



最終学歴	修士課程修了見込み
学年/専攻分野	修士2年/景観生態学
試験区分	森林・自然環境（院卒）
参加した説明会等	自然系web説明会など 3回、公務研究セミナー、オンライン職員訪問
併願先	シンクタンク、建設コンサルタントなど

### ➤ 志望動機

---

訪問者カード（官庁訪問で提出する書類）には以下の内容を記載しました。

自然環境分野に興味があり、これまでの大学での研究や環境系NGOでのインターンシップなどを経験してきました。それらを通じて社会、経済的な人間活動と生態系は相互に影響しあうもので両者のバランスをいかにとっていくかが重要であり、それらのバランスを俯瞰的な立場から調整することの意義を強く感じました。レンジャーは各地の自然公園で地元の方々と地域の課題に取り組みつつ、本省で法整備なども行うため、個々の現場で活動する立場と全国を俯瞰する立場の両方を務めることとなります。そのため、レンジャーという立場からであれば経済的な合理性や特定の立場に囚われずに多様な観点をもって、様々な立場の人々と共に環境と人との共生を目指せるような仕事がしていけるのではないかと考えて志望しました。

また、国家公務員という立場は国内だけでなく日本という国を代表して世界に貢献するという側面があると考えており、国際交渉の場での世界的なルールの設計や発展途上国の環境行政の支援などについても機会があれば関わっていきたいと考えています。

### ➤ 体験記

---

#### 【1次試験 基礎能力試験】

試験3ヶ月前から、実際に時間を測りながら過去問を5年分解きました。問題によって難易度や解答にかかる時間のばらつきが大きいので、時間配分や問題を解く順番の調整に慣れることを心がけました。

### 【1次試験 専門多肢選択式試験】

試験3ヶ月前から、白書や関連書籍に目を通しながら、過去問を5年分解きました。

こちらは特に時間が足りなくなることはなかったので、過去問を解いた上で分野ごとに知識の穴を補うことに注力しました。また、重点施策集などに目を通して直近の関連政策についても把握するようにしました。

### 【2次試験 専門記述式試験】

1次試験終了後に本格的に対策を始めました。1次試験の専門の対策で得た知識をベースに過去問を解きました。幸いなことに周囲に同じ試験科目を受験する同期がいたので、1次試験以降、何度か過去問の回答を持ち寄り、回答すべき要素の洗い出しを行いました。

### 【2次試験 人物試験】

面接カードを記入し何度か推敲を行いました。面接自体に対しては、民間の就活を経験していたので特に対策はしませんでした。当日、面接の順番が早かったためあまり緊張する暇もなく終わりました。

### 【2次試験 政策課題討議試験】

特に対策しませんでした。

### 【官庁訪問】

訪問者カードについては、過去の『内定者の声』の志望理由を参照しながら志望理由とその背景の接続がわかりやすくなるように意識して記載しました。

また、改めて資料に目を通しながら自分が関わりたいと思う政策のイメージを膨らませました。

第1クール1日目に対面で訪問しました。申し込みが早かったこともあり、昼過ぎには面接が終わりました。官庁訪問中の面接は比較的硬い雰囲気ではなく、フラットに学生と話してその人物像を掴もうとしているように感じました。質問はやはり訪問者カードに基づいたものが多かったです。

## ▶ 内定までの過ごし方、心がけたこと

---

試験対策が始まってからも、それだけに集中して根を詰めはせず、研究にも時間を使っていました。また、試験は当然重要ですが官庁訪問が肝要だと考えて、定期的に志望理由や関わりたい政策などについて思いを馳せるようにしていました。結果的にそれがモチベーションの維持につながったと思います。

官庁訪問後は、海外大学のサマープログラムなど学生時代にとるべきだと思った機会にも積極的に時間を割くようにしました。

## ▶ アドバイス、メッセージ

---

環境省自然系の採用では、総合職と一般職の併願が多いことによる影響ではないかと想像しているのですが、思った以上に職員の方々は志望者のことを観察していて、どのような人物か、本人にとって自然系総合職で入省するのが適しているのかを判断してもらえた気がします。

所詮、他人は他人なので、全てが参考になるわけではなくとも、これを読んでいるあなたにとって少しでも役立っていたら嬉しいです。

## Fさん



最終学歴	修士課程修了見込み
学年/専攻分野	修士2年/生態学
試験区分	森林・自然環境（院卒）
参加した説明会等	オンライン説明会 2回、インターンシップ（修士1年夏）
併願先	林野庁、国家一般職、地方公務員（造園）、建設コンサルタント

### ➤ 志望動機

子供の頃に自然再生事業に参加した経験から、自然を守る仕事に憧れを抱いていました。大学生のときには自然公園財団に、修士課程では環境省に、それぞれのインターンシップに参加したことで、自然保護の仕事はフィールドワークだけでなく、法整備などのデスクワークも重要なことに気づき、フィールドとオフィスの両方から日本の自然を守ることができる環境省を志望するようになりました。植物のことを中心に学んできましたが、野生動物などの自分の専門以外のことにも興味があり、業務を通じて学んでみたいと思っています。

### ➤ 体験記

#### 【1次試験 基礎能力試験】

受験前年の夏から過去問を入手してはいたものの、本腰を据えて勉強を始めたのは修士研究の実験を一通り終えた後、試験の約2か月前でした。基礎能力試験は、総合職と一般職の過去問5年分を、実際に時間を計りながら解きました。十分な勉強時間がなかったため、自然・人文・社会は一切勉強せず、おぼろげな記憶を頼りに本番も解きました。

#### 【1次試験 専門多肢選択式試験】

専門試験は、最初、ほとんど過去問を解くことができなかったので、『森林・林業白書』や『森林林業実務必携』を利用して、自分なりの解答解説書を作ることで勉強していました。専門試験についても必須問題の砂防学や地学の分野だけ、どうしても苦手だったので、捨て問ということにして潔く諦めました。

#### 【2次試験 専門記述式試験】

専門（記述）試験は、1次試験の自己採点後から対策を始め、最新の『森林・林業白書』をよく読み、環境省HPで今年注目されている事柄について調べるなどして試験前日まで過ごしました。過去問2年分

は時間内に書く練習に使いました。

#### 【2次試験 人物試験】

人事院面接の面接シートは家族に添削してもらい、大学の模擬面接も受けました。とにかく気持ちだけは絶対に負けないと最初から決めていたので、何でも堂々と答えるようにしました。

#### 【2次試験 政策課題討議試験】

政策課題討議は、大学で行われている模擬トレーニングに2回参加しました。普段から気になったことがあれば自由に発言するタイプなので、周りを困らせない程度に、いつも通りを意識して討議に臨んだつもりです。

#### 【官庁訪問】

第1クール1日目は前日に行われた一般職試験の会場から帰宅するために半日ほど費やしたので、2日目にオンラインで行いました。訪問者カードに書ききれなかったエピソードなどは1枚の紙にまとめ、面接の直前に見返していました。事前に対策をすれば答えられるような面接でよくある質問がほとんどですが、時折、「それを聞いて何を知りたいのかしら？」と思うような質問もありました。私の場合は、戸惑うことがあっても普段通りの自分の良さを出して自然な受け答えをした方が、面接官の反応も良かったように思います。官庁訪問より先に、民間企業で何度か面接を受けられたことも緊張を和らげる助けになりました。

### ▶ 内定までの過ごし方、心がけたこと

---

試験勉強は近所の図書館でしていました。僻地に暮らしていたため一緒に就活をする人が身近におらず、遠くで暮らす友人や家族に電話で相談に乗ってもらうこともありました。特に、家族からの歯に衣着せぬ怒涛のダメ出しには、心をズタズタにされながらも多くの場面で助けられたと思います。

正直、1次試験が終わるまでは、総合職は受からないだろうと思っていたので、勉強が嫌になったら素直な心に従い、旅行したり、運動したり、寝たりしていました。今思うと適度な息抜きになっていたのかもしれない。

### ▶ アドバイス、メッセージ

---

この文章を読んでくださった方の中で、真面目な印象を受けられた方は少ないのではないかと思います。自分でも人にお勧めできるような対策が出来ていたとはあまり思えないので、是非、他の内定者の方が書いた準備・対策の様子も読んでみてください。

国家公務員は内定がもらえるまで長期戦で、身体的にも精神的にも追い込まれることがあると思います。目指すと決めたら、最後まで健康に気を付けて頑張ってください。

あなたにとって納得のいく就職活動になりますように。

## Gさん



最終学歴	修士課程修了見込み
学年/専攻分野	修士2年/山岳科学（環境社会学）
試験区分	森林・自然環境（院卒）
参加した説明会等	オンライン説明会 5回、インターンシップ(修士1年夏)
併願先	林野庁、メーカー、建設コンサルタント（環境）

### ➤ 志望動機

私は、日本の自然環境を持続的に活用していくために、その実施体制と法整備の両面に携わりたいと思い、環境省を志望しました。子供の頃に参加したキャンプ教室や、高校・大学での登山と里山保全活動等の経験から、自然環境の保護と利用について、現場の目線で実施していく重要性を学びました。一方で、大学院の自然保護に関するプログラムや、環境省のインターンシップへ参加した経験から、自然環境を国や世界のレベルでより広く捉え、法律や制度を整備していく必要性とやりがいを実感することができました。この2種類の経験から、現場での実施体制の構築と、法律や制度の整備は、自然環境を持続的に活用していく上で不可欠であり、その双方に関わることができる環境省の事業や業務に強く惹かれました。

### ➤ 体験記

#### 【1次試験 基礎能力試験】

一般知能に関しては、受験前年の10月頃から勉強を始めました。民間への就職も考えていたため、試験範囲が重なる点が多いSPIの勉強と同時並行でゆっくりと行っていました。基本的には、総合職試験の過去問5年分を利用して対策を進めました。他の試験と比べると、時間が足りないと感じていたため、分からない問題は飛ばしたり、考えすぎないようにしたりして、練習の段階から早く解く癖をつけるようにしました。一般知識に関しては、1次試験の直前になってから、高校の頃の教科書を見直したり、時事に関する参考書を读んだりするだけで、特に力を入れて対策は行いませんでした。

#### 【1次試験 専門多肢選択式試験】

受験年の1月頃から過去問を使って勉強を始めました。具体的には、5年分の過去問について各問題の選択肢の正誤とその理由を、森林・林業白書や環境白書、大学での林業や自然保護等に関する講義の資料等を参考にしつつまとめていきました。また気を付けていた点として、正誤理由をまとめる際に参考にする

グラフや表に関しては、年代による変化や種別の違いなどをイメージできるように数値も含めてよく覚えるようにしていました。

### 【2次試験 専門記述式試験】

1次試験が終わってから対策を始めました。5年分の過去問について、各問題に対する模範解答を環境白書、環境省のホームページ、大学での自然保護に関する講義資料等を参考にしつつ、まとめていきました。また、環境省ホームページに載っている次年度の「重点施策集」から、自然環境分野で重要視されている最新の政策を確認し、それらについても調べてまとめていました。

### 【2次試験 人物試験】

面接カードは1次試験終了後に、親や大学の先輩に添削をしてもらいながら内容を簡潔に伝えられるようにまとめていきました。また、人事院のホームページ等に載っている「国家公務員に求められる資質や能力」に対して、自分の足りている点や足りない点を明確にした上で文章を書くようにしていました。本番ではあまり緊張せずに落ち着いて答えることが出来、民間の就職活動の経験も活かすことが出来たかなと感じています。

### 【2次試験 政策課題討議試験】

特には時間をかけて対策をすることはありませんでしたが、前半部のレジюмеをまとめる時間が限られているため、まとめ方を事前に考えておくようにしました。

### 【官庁訪問】

訪問者カードは専門記述式試験が終わってから作り始め、こちらも親や先輩に添削をもらいつつ完成させました。自分の得意なこととやりたいことが環境省の政策とどう結びついているのかを、実体験と紐付けて伝えられるように文章を構成しました。面接の対策としては、想定される質問とそれに対する自分の回答をまとめた問答集を作成しました。ただし、本番では相手と対話することが最も大切だと思います。問答集にこだわらず相手の質問の意図や面接の流れを汲んだ返答が出来るように心がけました。

## ➤ 内定までの過ごし方、心がけたこと

---

結果的には、趣味や研究や講義の受講等の時間を少しずつ削る事になっていましたが、試験の準備以外の過ごし方として特に気を付けていることはありませんでした。逆に、苦にならない程度に楽しんで、自分のペースで試験の準備が出来ていたのかもしれない。

## ➤ アドバイス、メッセージ

---

偉そうなことを言うてしまうのですが、大学の勉強や旅行先の体験や友達との会話等、色々な経験から自分の可能性を広げて、進路についてよく迷うことが大切だと、後になって感じています。その迷っている所から、試行錯誤をしていくと、自然と選択肢は絞られていき、強い意志を持って進路を選べるようになると思います。そしてその意志は、試験の準備のモチベーションとなり、本番でも自分を支える基礎になってくれると思います。ここまで読んでいただきありがとうございます。この体験記がレンジャーを志している方や興味があって見てくださった方にとって、何かの参考になれば幸いです。

## Hさん



最終学歴	修士課程修了見込み
学年/専攻分野	修士2年/生態学
試験区分	森林・自然環境（院卒）
参加した説明会等	インターンシップ（学部2年・8月）、自然系WEB説明会 2回
併願先	林野庁、環境省自然系一般職、地方上級

### ➤ 志望動機

幼少の頃、野生動物とよく遭遇するような豊かな自然の中で育ったため、野生動物と人との関係性に対して漠然と関心を持っていました。大学入学後は、イノシシの研究や野生動物調査のアルバイト等の活動を通して、生物多様性の保全と人間の経済活動の発展の両立は難しいことや自然環境と人間の軋轢に關してあらゆる問題が山積みになっていることを学びました。そこで、私はこのような現状に対する抜本的な解決に貢献できるような生物多様性・自然環境の保護・保全の政策・制度作りに携わりたいと思うようになりました。環境省の生物多様性と人間との共生を進めながら、日本の社会全体に貢献できる点において魅力を感じたため、志望しました。

### ➤ 体験記

#### 【1次試験】

勉強を開始したのは試験日の約半年前でした。スタートが遅かったため足切りをクリアすることを目標に、配点の高い数的・判断推理に絞って勉強しました。数的・判断推理に関しては解き方が決まっているため、公式を頭に叩き込み参考書を何度も解きました。専門多肢選択試験では、併願していた一般職試験の対策も兼ねて林学の過去問を10年分解きました。間違った問題は、森林林業実務必携と森林・林業白書を使用してノートに自分なりの解説を書いてまとめました。そのノートを日常生活の空いている時間に読むようにしました。10年分の過去問は点数を8割以上解けるまで、繰り返し解きました。

#### 【2次試験】

専門記述試験対策は、1次試験合格後に急いで始めました。参考書とあわせて環境省や林野庁のHPと

ネット上にある政策をまとめたpdfを使用して、対策ノートを作成しました。復習でWordを使ってアウトプットする練習をしたのち、時間内に書ききる訓練もしました。人物試験は、提出する面接カードの作成に時間をかけました。文字数に制限がある中、いかに自分のひとりとなりをアピールできるかがポイントだと思います。面接カードは周囲の客観的な意見を取り入れ、その都度修正しました。面接時は面接カードに沿って質問されるので、自分の受け答えしやすい内容を記載すると安心して臨めると思います。政策課題討議試験は、大学の公務員講座で1度だけ模擬練習をしてレジュメの書き方や全体の流れを把握しました。私は本番緊張しすぎて試験中の記憶はほぼありません……。的外れなことを言わない限りは大丈夫だと思います…！

### 【官庁訪問】

官庁訪問は、訪問予約の初動が遅れて第1クールは2日目からの参加でした。面接では、かなり緊張すると確信していたため、訪問者カードの準備や面接練習は入念に行いました。面接時は、『自分の最大限を出し切る、それで落ちたらしやうがない！』という意気込みで臨みました。面接の最後に訪問者カードに沿った質問+ $\alpha$ で逆質問をすることができるので、あらかじめ自分の興味のある政策や制度に対する質問をまとめておくといいと思います。第2クールの面接は短く、一瞬で終わってしまい、まったく手ごたえは感じませんでした。面接終了後、落ち込みすぎて日比谷公園のベンチで一時間近く放心状態でした。それでも内定をいただくことができたので、志望理由やなぜ環境省で働きたいかを自分自身でも深く掘り下げ、熱意をもって相手に伝えることができるかどうか重要だと感じました。

## ➤ 内定までの過ごし方、心がけたこと

---

内定までは長期戦なので、怠け癖のある自分自身のモチベーションを保つために、環境省のHPを検索したり国立公園や近くの自然に足を運んだりして自分を奮い立たせていました。研究で月に1,2回山に入っていたのも良い気分転換だったと思います。焦ったり落ち込んだりする時は一人で抱え込まず、友人や家族と話して前向きに過ごすようにしてみてください。日向ぼっこもおすすめです。

## ➤ アドバイス、メッセージ

---

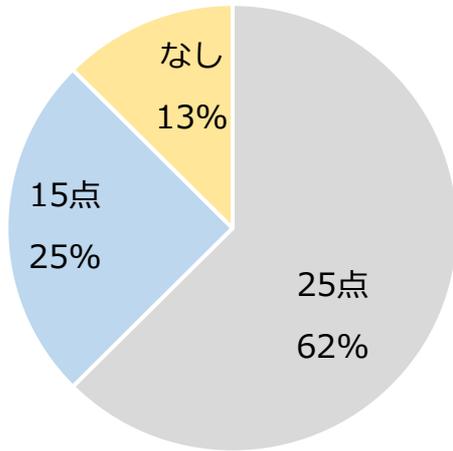
環境省のレンジャーは私自身とても憧れていた仕事でした。私には無理だと諦めた瞬間は何度もありましたが、そのたびに私の幼少期を支えてくれた野生動物や豊かな自然を守りたい、という強い思いが私を奮い立たせてくれました。この内定者の声を見ている方の中にはレンジャー志望の方やそうでない方がいるかと思いますが、自分の信念を曲げず後悔がないよう全力で頑張ってみてください。そうすれば、必ず道は開けると思います！

皆さんの就職活動を陰ながら応援しています！がんばって！

## 内定者による内定者アンケート

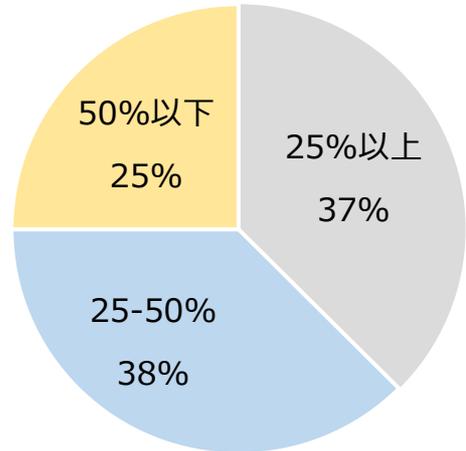
試験対策、面接準備…ちょっと気になるあれこれを内定者8人にアンケートしてみました！

Q1 英語加点は？



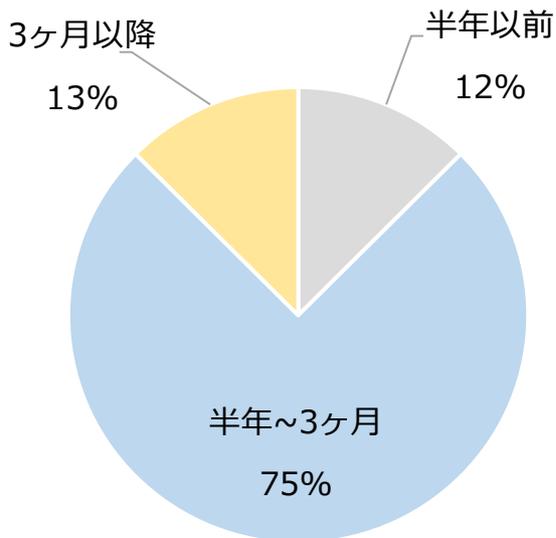
英語加点は多くの方が利用しています。院卒区分の場合、大学院入試の際に受験した点数を活用するパターンもあるみたいです。

Q2 席次は？



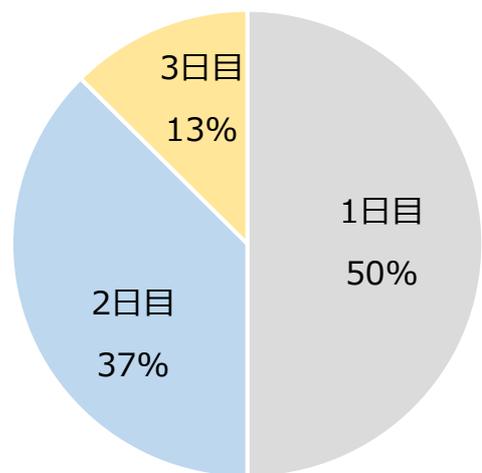
環境省が席次ではなく、人物重視であること・多様な人を採用していることが表れているのかなと思います。

Q3 公務員試験の勉強開始時期は？



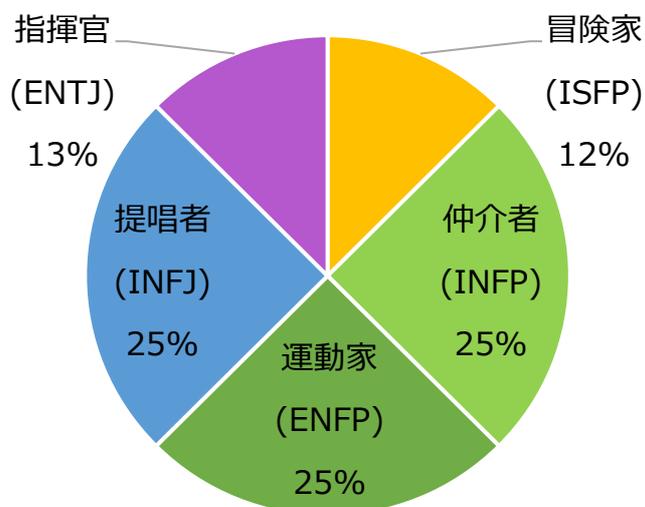
半年~3ヶ月前の人が大半を占めていました。

Q4 官庁訪問は何日目？



半数が初日に訪問、残り半数は2日目・3日目訪問でした。

### Q5 内定者の性格診断（MBTIのタイプ）の結果は？



MBTIとは、マイヤーズとブリッグスがスイスの心理学者、カール・ユングの心理学的類型論に基づいて考案した性格診断テストです。  
全部で16のタイプに分類されます。

### Q6 併願先は？

林野庁：5名 農林水産省：3名 国土交通省：1名 原子力規制庁：1名

※併願なしも1名います。

### Q7 就活でやって良かったことは？ \*複数名の回答は太字で表しています。

#### 1. 職業選択・意欲・モチベーション編

- ・ 施策調べ
- ・ レンジャーや自然に関わる人に話を聞くこと
- ・ インターンシップ・企業アルバイトへの参加
- ・ 目標設定

#### 2. 試験対策編

- ・ **ビオトープ管理士の資格試験を受験したこと**
- ・ 前年度の受験

### 3. 面接・官庁訪問編

- ・民間就職の面接を経験したこと
- ・**課外活動・研究などの充実**
- ・ニュースで環境問題を知り自分の意見を持つこと

面接の際にもガクチカ（学生時代に力を入れたこと）・研究内容などはたくさん聞かれる機会があるので、学生生活も全力で楽しんでください！

## Q8 失敗談は？

### 1. 試験編

- ・提出書類に不備があった

### 2. 面接編

- ・オンライン官庁訪問は急に始まる緊張感があった
- ・面接当日まで面接カードが完成していなかった
- ・筆記用具を忘れてメモを取れなかった
- ・霞ヶ関駅から思ったよりも遠かった（官庁訪問）
- ・志望度の高さをアピールしきれなかった

### 3. 就活編

- ・説明会に行きそびれた
- ・民間企業を受けなかった
- ・志望した時期が遅くインターンシップに参加できなかった

## Q9 就活の悩みは？

- ・研究やバイトとの兼ね合いが忙しい
- ・孤独感を感じた、勉強仲間が欲しかった
- ・地方から東京に出るのが遠かった（費用の心配も）
- ・モチベーションの維持が大変だった（内々定が出るまで時間を要するため）
- ・官庁訪問への恐怖感があり不安だった

## Q10 環境省を知るために行ったことは？

- ・インターンシップへの参加
- ・オンライン職員訪問
- ・レンジャーに話を聞く（ビジターセンター来訪時など）
- ・パンフレット・HP・SNSのチェック
- ・OB訪問

説明会やオンライン職員訪問など環境省が提供している機会もたくさんあるので、色々な機会を積極的に利用してみてください！

## Q11 気分転換に行っていたことは？

- ・一人カラオケ ・料理 ・筋トレ ・友人との会話・電話 ・美味しいものを食べる
- ・勉強場所を変える ・散歩 ・旅行 ・映画鑑賞 ・研究で山に入る ・野球

## Q12 官庁訪問で困った質問は？

- ・「with コロナの時代になり、今は(当時は)5類に移行したこともあって、マスクをつける人とつけていない人と、色々な人がいるけど、今後どう変化していくと思う？あるいは未来について何か予測していることがある？」
- ・いきなりクイズを出題されたこと（クイズ大会優勝から）
- ・「藤井聡太が（当時）7冠したことについてどう思いますか？」
- ・「高級食パンが最近流行っているけど、どう思う？」（パン屋でアルバイトした話から）
- ・「ロングトレイルを新しく日本でやるなら、どこの地域が良いと思う？」（ロングトレイルを歩いたことから）
- ・「あなたは坂本龍一さんの音楽をどのように評価しますか？」（明治神宮外苑の話題から派生して）
- ・「不真面目な人と接するのは得意ですか？」
- ・プロテニスプレーヤーの試合時の対応について聞かれたこと
- ・苗字の由来について聞かれたこと
- ・「環境問題を解決するのにあなたが一番必要だと考えることは何ですか？」

## 受験で使用した参考書・資料

太字：2人以上が使用していたもの

💡：特におすすめしたいもの

### ➤ 基礎能力試験

---

#### 💡過去問

#### 💡速攻の時事(実務教育出版)

- ・ **国家総合職教養試験過去問 500(実務教育出版)**
- ・ 新スーパー過去問ゼミ (数的推理・判断推理)
- ・ TAC 公式教材 公務員試験過去問攻略V テキスト(TAC 公務員講座)
- ・ ハシビロコウ数的処理教室 ([YouTube チャンネル](#))

### ➤ 専門試験

---

〈森林・自然環境〉

#### 💡過去問

#### 💡森林・林業白書(林野庁)

#### 💡環境白書(環境省)

- ・ 高校地学の教科書・図説
- ・ 森林生態学(朝倉書店)
- ・ 造園学概論 (朝倉書店)
- ・ **森林・林業実務必携 (朝倉書店)**
- ・ **造園実務必携(朝倉書店)**
- ・ 自然保護学入門一ひとと自然をつなぐ(筑波大学出版)
- ・ 自然公園の手引き(自然公園財団)
- ・ 国立公園(自然公園財団)
- ・ 国立公園の法と制度 (古今書院)
- ・ 国立公園論 (南方新社)
- ・ ニューフォレストーズガイド(全国林業改良普及協会)
- ・ よくわかる都市計画の基本と仕組み(秀和システム)
- ・ 各省庁 HP 林野庁「[キーワード検索](#)」  
環境省「[政策分野一覧](#)」 「[自然環境・生物多様性](#)」 「[キーワード検索](#)」  
「[重点施策集 \(HP\)](#)」 ([PDF](#))」  
国土交通省「[都市計画制度](#)」 「[政策情報](#)」
- ・ グーグルで検索すると出てくる政策に関する pdf・パワーポイント

## 〈化学・生物・薬学〉

- 💡生態学入門 日本生態学会編 (東京化学同人)
- ・エッセンシャル 生化学 (東京化学同人)
- ・基礎生物学テキストシリーズ 微生物学、遺伝学 (化学同人)
- 💡薬学まとめました (<https://yaku-tik.com/yakugaku/category/koumu/>)

## ➤ 人事院面接

---

- ・大学の就職指導センターの面接練習を複数回利用
- ・公務員試験 現職人事が書いた「面接試験・官庁訪問」の本 (実務教育出版)

## ➤ 政策課題討議

---

- ・大学の公務員講座の指導員の講座
- ・【公務員試験】国家総合職の政策課題討議とは？内容や対策法を講師が解説！  
(<https://www.agaroot.jp/komuin/column/seisakukadaitougi/>)
- ・【教養2次】政策課題討議試験のポイント3編 (<https://www.xkasumi.com/media/articles/gd>)

## ➤ 官庁訪問

---

### 💡環境白書

- ・説明会資料
- ・公務員試験 現職人事が書いた「面接試験・官庁訪問」の本 (実務教育出版)
- ・自然保護学入門一ひとと自然をつなぐ(筑波大学出版)
- ・国立公園(自然公園財団)
- ・環境省 HP「重点施策集 ([HP](#)) ([PDF](#))」「[自然環境・生物多様性](#)」
- ・【公務員】国家総合職の官庁訪問とは？面接内容・スケジュール・対策法を解説  
(<https://www.agaroot.jp/komuin/column/kokkasogo-kantyouhoumon/>)

## ➤ 全期間を通して使用したもの

---

- ・内定者の声
- 💡国家総合職(化学・生物・薬学)試験対策 (<https://kaseiyaku.com/prpfile/>)